

各 位

上場会社名 株式会社 フォーバル  
 代表者 代表取締役会長兼社長 大久保 秀夫  
 (コード番号 8275)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 加藤 康二  
 (TEL 03-3498-1541)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,800	150	100	100	7.27
今回発表予想(B)	17,605	119	105	4	0.34
増減額(B-A)	805	△31	5	△95	——
増減率(%)	4.8	△20.6	5.0	△95.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	15,520	△506	△640	△610	△44.34

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,000	450	400	300	21.80
今回発表予想(B)	35,000	450	400	300	21.80
増減額(B-A)	△1,000	0	0	0	——
増減率(%)	△2.8	0.0	0.0	0.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	34,323	△970	△1,263	△530	△38.53

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	10	60	120	8.72
今回発表予想(B)	6,586	221	307	174	12.67
増減額(B-A)	△213	211	247	54	——
増減率(%)	△3.1	—	411.6	45.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,609	△322	△177	△199	△14.51

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	30	150	200	14.53
今回発表予想(B)	13,000	380	450	300	21.80
増減額(B-A)	△500	350	300	100	——
増減率(%)	△3.7	—	200.0	50.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	12,900	△627	△375	17	1.24

## 修正の理由

(連結第2四半期累計)

売上は主として子会社フォーバルテレコム及びそのグループ会社であるタクトシステムの売上が当初の予想に対して順調に推移したため176億となる見通しです。その一方で営業利益は携帯電話端末販売事業やシステム機器販売事業を行う子会社等の業績が当初の予想に対し立ち遅れましたが、フォーバルが別掲のように当初の予想に対して大幅に増益となったことにより挽回し119百万円となる見通しです。経常利益は金融収支等が当初の予想よりも改善したこともあり105百万円となる見通しです。第2四半期累計純利益はフォーバルテレコムにおいて貸倒引当金繰入による特別損失があったことにより当初の予想を下回り、4百万円となる見通しです。

(連結通期)

売上はフォーバルテレコム(連結)の売上が引き続き順調に推移すると見られる一方で携帯電話端末の売上が当初の予想に対して大きく減少する見通しであり、350億に修正します。営業利益、経常利益に関してはフォーバルが改善する見通しであるのに加え第2四半期累計で立ち遅れた子会社等に関する収益改善が見込まれるため当初予想と変更はありません。当期純利益についても第2四半期累計の当初予想に対して減少した要因のひとつであったフォーバルテレコムが当初の予想と変更ない見通しであり、変更はありません。

(個別第2四半期累計)

売上は電話機等、Web関連商品に関しては依然として厳しい環境にあり6,586百万円となる見通しです。その一方でフォーバルでは「アイコン」サービスなどの物販以外にもしくは物販に付加したサービスの売上が順調に推移しております。またネットワーク関連機器において社内の技術者が設置することで付加価値を高めており、更に営業管理システムの導入などにより営業部門を中心に生産性が急回復し、売上の増加に時間が要している中で営業利益率が向上し、それにより営業利益、経常利益、四半期純利益がそれぞれ当初の予想に対し大幅に増益となっております。

(個別通期)

市場環境は依然として楽観を許さないため、売上は130億に修正いたします。収益面に関して第2四半期までの実績に対し悪化する要因は顕在化しておりませんが、不透明な経済情勢も考慮して営業利益380百万円、経常利益450百万円、当期純利益300百万円にそれぞれ増額して修正いたします。

尚、本日子会社の株式会社フォーバルテレコム(東証マザーズ:9445)が「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表しており今回の修正はその内容を折り込んでおります。(別紙参照)

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる場合があります。

以上

平成20年11月13日

各位

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム  
 代表者 代表取締役社長 谷井 剛  
 (コード番号 9445)  
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 山本 忠幸  
 (TEL 03-3233-1301)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	6,800	200	200	190
今回発表予想(B)	7,662	206	208	79
増減額(B-A)	862	6	8	△110
増減率(%)	12.7	3.1	4.2	△57.9
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,561	161	165	156

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,500	450	450	400
今回発表予想(B)	15,300	450	450	400
増減額(B-A)	800	0	0	0
増減率(%)	5.5	0.0	0.0	0.0
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,466	337	344	192

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	5,500	170	175	173
今回発表予想(B)	5,977	224	255	133
増減額(B-A)	477	54	80	△39
増減率(%)	8.7	32.1	45.9	△22.6
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,298	168	173	169

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	11,300	340	350	346
今回発表予想(B)	11,900	400	440	400
増減額(B-A)	600	60	90	54
増減率(%)	5.3	17.6	25.7	15.6
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	10,858	314	327	61

## 修正の理由

## (1)第2四半期累計期間

「新通信サービス事業」の拡販及び新規獲得に注力した結果、売上高・営業利益・経常利益は当初の予想を上回る見込となりました。一方、新通信サービス事業における債権区分を見直した結果、貸倒引当金繰入額を特別損失に111百万円計上するため、当期純利益は当初の予想を下回る見込となりました。

(2)通期

単体業績に関しては当初の予想を上回る見込ではありません。

連結業績に関しては売上高は連結子会社も当初の予想を上回る見込みにより、単体業績と合わせて当初の予定を上回る見込みであります。営業利益・経常利益・当期純利益は景気低迷に伴うコスト増による売上総利益率の低下および内部統制の構築等に伴う管理コスト増により連結子会社の経営環境が想定以上に厳しい状況のため、概ね当初の予想通りに留まる見込であります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上